

誠実

誠実 心にあらずぐ生きる

よく考え 助け合って やりぬく

2015.08.27 No.18

北陵中学校生徒指導通信
学校電話 0572-27-6068

一事が万事

～誠実に取り組み、

つなげていく生活を送る～

40日余りの夏休みが終わりました。夏休み前の集会では、

夏休みは、『自分を伸ばすチャンス』です。そのチャンスをものにするには、『自分を正しい方へコントロールする』ことです。

という、話をしました。自分を正しい方へコントロールし、自分を伸ばすことができましたでしょうか？

校長室前には夏休み前よりも優勝旗が増え、また、勝ち進んだ大会で賞を得た生徒がたくさんいます。応援団は、よいスタートを切れるようにと、何度も学校に出向き、打ち合わせをし、練習までしていました。生徒会役員は、連合生徒会という多治見市の大きな会議に堂々と臨み、さらには、体育祭に向けての準備も着々と行っていました。また、学力をつけようと、先生に連絡を取り、学習に来る生徒もいたり、地域でのボランティア活動でも活躍する生徒もいたりしました。

『がんばった』事実が、次へとつながっていくものです。

今日から、また学校生活が始まります。再スタート（リスタート）です。『がんばった』事実が、次へとつながっていくということに関わって、これからの生活で大事にして欲しいことを1つ話します。

『**一事が万事**』ということです。この言葉の意味は、**わずか一つの物事、わずか一つの小さな事柄の調子や様子が他のすべての場合に現れる。**という意味です。

「これぐらい」と思うことをおろそかにせず、心を込めて取り組んでください。「ちょっとぐらい」と思うことでも正しい方へ自分をコントロールしてください。

まずは、授業・掃除・合唱・黙想・ボランティアの5本柱を中心とした学校生活を大事にすること。そこに、自分だけという考えではなく、学級や学年の仲間を大事にする行動を加える。そうすることで、その先控える前期まとめの大きな行事である体育祭が成功し、学級や学年では前期の締めくくり活動で『できた事実』が生まれ、さらには、自信をもったの後期のスタートへとつながっていきます。

1つ1つを大事にし、つなげていくために、よく考え、助け合って、やりぬく生活を送りましょう。

学校生活に誠実に取り組む

- ・5本柱を大事にする。
- ・自分の役割の責任を果たす。
- ・仲間と助け合ってやりぬく。

“体育祭の成功”

- ・心に残すことのできる財産に！
- “自信をもって後期へ”
- ・自分の役割を果たしきる！

正しい方へ自分をコントロールし、
毎日1つでも良いから、「がんばった事実」を創る。